

実践事例集

事例 No. 15

本事例についてのお問い合わせは

ユースパートナーアソシエーション 櫛島(ぬでじま)

までお願いいたします

団体名 (個人名)	ユースパートナーアソシエーション
団体(個人) 所在地	〒371-0116 群馬県前橋市富士見町原之郷790-3 セゾンフジ西207号
TEL番号	090-9006-8711
FAX番号	なし
メールアドレス	Nude-amago.7-1@docomo.ne.jp
記載者の職・氏名	代表 櫛島 隼人

実践のあらまし

- ・子どもゆめ基金の助成を受けて「ユースパートナーキャンプ」を開催しました。平成20年度までは国立赤城青少年交流の家主催で行われていたキャンプを、施設ボランティアの有志で継続したものです。
- ・主な対象は特別支援を必要とする青少年とその家族です。今回は9組、21人の家族が参加してくれました。

実践の内容

生活体験を基盤にプログラム構成を行いました。

- ・夕食作り(カレーライス)... 自宅でも取り組みやすい料理
 - ・うどん打ち(流しうどん)... 非日常体験と、自身で作ったものを自身で食べる喜びを体験
- 「水」をテーマにした遊びのプログラム
- ・竹水鉄砲作り、遊び
 - ・オリジナル傘作り
 - ・シャボン玉
 - ・水遊び

まとめ

- ・参加してくれた子ども達の発達段階に合う遊び、体験方法を考えて企画しました。キャンプでの体験をわずかでも日常に活かせるように考え体験の内容も工夫し、本人の力、興味に応じた参加の仕方に配慮しました。生活していく力、コミュニケーションをとる力、統合して、他者と関わる(向き合う)体験は、子どもの時から積み重ね、いろいろなパターンを得て、大きな力になると考えます。子どもの時に沢山の体験を得る場が、子ども達には絶対必要だと思いました。